

## 〈全校研究主題〉

# 生き生きと学び続ける生徒の育成

～主体的・対話的に学びながら，一人一人が課題解決できる授業づくりを通して～

### 〈国語科の生徒の実態〉

- 目的に応じて，的確に読んだり書いたりする生徒が増えてきた。
- 単元を通して，出口の活動を意識しながら授業に向かう生徒が増えてきた。
- 国語の基礎知識及び技能の定着において，個人差が大きい。
- 根拠を明確にして意見を述べることにやや弱さがあり，深まりのある意見交流ができるまでには至っていない。

### 〈授業で生み出したい姿〉

#### 〈主体的・対話的な姿〉

- \*教材や題材に興味をもち，単元を通して学ぶ内容や付けるべき力を見通す姿。
- \*言葉を駆使して読んだり書いたり話したりし，学習課題を探究する姿。
- \*学習課題に沿って根拠を明確にして意見を交わし，自己の考えを深める姿。

#### 〈課題解決できる姿（深い学び）〉

- \*既習の言語知識や考え方を駆使しながら，学習課題を解決する姿。
- \*授業を通して学んだ内容や技能に関心をもち，読書に親しんだり，深く探究したりする姿。

## 〈国語科研究主題〉

# 題材や教材との出会いから課題を見出し，目的をもって学び続ける生徒の育成

### 〈研究主題設定の理由〉

昨年度の研究では，単元計画の中に，学習内容に応じて「習得」「活用」を位置付けたことや，単元を貫く課題を工夫したことによって，生徒は目的をもって，主体的に課題を探究することができた。また，単位時間において目指す主体的・対話的な姿を単元計画に位置付けたり，ねらいに迫るための主発問を工夫したりしたことで，言葉を通じて自分のものの見方や考え方を広げ深める姿が生まれた。

一方で，感情や想像したことを言葉で表現することに弱さが見られた。また，自分の考えを相手に分かりやすく説明しようとする意識が低く，考えをより確かにすることができていない。さらに仲間の意見から学びを深めることができていない生徒がいることも事実である。

国語部が考える「授業で生み出したい姿」は，教材や題材に興味をもち，疑問や探究したいことを見出し，学習課題に沿って，根拠を明確にして意見を述べ合う姿であると考えている。そこで，本年度は，前年度までの成果を踏まえ，上記のような研究主題とした。

### 〈研究内容1〉

「習得」と「活用・探究」の学びのつながりを明確にした単元構成の工夫

- ・単元のねらいに迫るために「単元を貫く言語活動」「単元を貫く課題」と「学習内容」，「生徒の意識のつながり」を明確にする。
- ・「やりたい」「考えてみたい」といった，生徒の意欲を喚起するような必然性のある言語活動を単元終末に位置付ける。

### 〈研究内容2〉

一人一人が課題解決できる手立ての工夫

- ①一人一人が課題解決に向かうための主体的・対話的な学びを促す工夫
  - ・単位時間のねらいと出口の姿を明確にし，対話を通して自他の思考の広がりや深まりが期待できる学習活動を位置付ける。
  - ・思考の広がりや深まりを視覚的に捉えることができる，構造的な板書等を工夫する。
- ②学びの状況を実感できる授業終末の工夫
  - ・仲間の考えをもとにした自己の考えの変容を，まとめの記述の中に記録させたり，意図的指名によって発言させたりすることで，学びの状況を自覚できるようにする。

**研究の基盤**（確かな学級経営と教科横断の共通指導，PDCA サイクルを意図した指導）

- ①互いに認め，高め合える学級集団の育成 ②生徒の自主的な活動の推進 ③基礎・基本の定着